

平成30年度

事 業 報 告

(平成30年1月1日から12月31日まで)

公益社団法人 競走馬育成協会

# 平成 30 年度 事業報告

公益社団法人競走馬育成協会

## 概況

平成 30 年度の中央競馬はダービーや有馬記念を中心に 1 年を通じて順調に推移し、売得金は対前年比 101.7%、7 年連続で増加という良好な成績であった。

育成業界が注目している 2 歳トレーニングセールについては、JRA ブリーズアップセールを除いた集計で平成 27 年以降、上場頭数、売却頭数、売却総額、平均価格といった要素が堅調で、売却率も高い水準で推移し、盛況な市場を維持しているといえる。

このような情勢の中、当協会は平成 30 年度も様々な事業を展開してきた。

育成技術講習会については、平成 29 年より東西のトレーニングセンターで実馬を使ったデモンストレーション形式の講習に形を変えて継続し好評を得ており、平成 30 年は北海道地区でも同様の方式をはじめて実施し、幅広く聴衆を惹き付けて大変な盛況ぶりであった。

就業者参入促進事業（BOKUJOB）では、現代の若者の情報収集窓口であるホームページについて魅力ある形にリニューアルし、平成 30 年 11 月より新たにオープンさせた。さらに、日本学校農業クラブ全国大会への新たなブース出展に加えて、メインフェアや関西フェアの開催、広報&相談コーナーの充実、牧場見学会や牧場で働こう体験会の実施等が 1 年を通じて間断なく運営された。

競走馬育成技術表彰では、近年会員育成馬の優勝する競走の該当率が高い状態を維持しており、会員牧場の育成技術の確かさが示されている。また、開催場表彰の対象となる重賞 2 歳ステークス競走では全 6 競走において会員の育成馬が優勝し表彰を受けた。

その他にも、修学奨励金交付、海外派遣研修、競馬関連機材の有効活用、利子補給、リース事業仲介、情報誌発行等の広範囲の事業を展開した。

## 1. 軽種馬の育成調教技術の向上に関する普及、啓発及び指導

### 1) 育成技術講習会の開催（公益事業）

軽種馬の生産、育成、調教に関する知識と技術の向上を目的とした講習会を当協会の全 5 地区で開催した。開催にあたっては広く一般にも参加を呼びかけ、日本中央競馬会（JRA）及び公益財団法人軽種馬育成調教センター（BTC）との連携・共催で実施した。

関東と関西地区では平成 28 年に講演形式で実施した「馬術と競馬の融合」という題材について、平成 29 年から導入した実馬を使ったデモンストレーション形式での講習会を、平成 30 年においても東西のトレーニングセンターで実施し、平成 29 年同様に大好評であった。平成 30 年は北海道地区でも実馬を使ったデモンストレーション形式での講習会をはじめて実施し、幅広く聴衆を惹き付けて大変な盛況ぶりであった。

講習の様子は協会のホームページから動画配信するとともに資料の添付も実施して、参加できなかった一般の方々に向けても広く普及に努めた。

|     | 開催日時<br>場所       | 講習内容                                 | 講師                   | 参加者 |
|-----|------------------|--------------------------------------|----------------------|-----|
| 東北  | 9月12日<br>八戸家畜市場  | 馬と良好な関係の構築～馬のマインドに働きかける～             | 工藤将孝氏/JRA 馬事公苑       | 35  |
| 九州  | 9月27日<br>九州種馬場   | 馬と良好な関係の構築～馬事公苑で実施している引退競走馬のリトレーニング～ | 宮田健二氏/JRA 馬事公苑       | 38  |
| 関西  | 11月14日<br>栗東トレセン | 馬をコントロールするための騎乗者の役割                  | 戸本一真氏・北原広之氏/JRA 馬事公苑 | 162 |
| 北海道 | 11月21日<br>静内種馬場  | 馬をコントロールするための騎乗者の役割                  | 戸本一真氏・北原広之氏/JRA 馬事公苑 | 213 |
| 関東  | 12月12日<br>美浦トレセン | 馬をコントロールするための騎乗者の役割                  | 戸本一真氏・北原広之氏/JRA 馬事公苑 | 200 |

## 2) 競走馬育成調教技術表彰事業（共益事業）

競走馬の育成調教の技術向上を図り、育成調教者の基盤強化及び意欲増進を図るため、優秀な競走成績を収めた競走馬の育成調教者に対する表彰を実施した。

表彰対象 510 競走のうち 295 競走において会員の育成馬が優勝し表彰された。新馬競走で 72%以上、2 歳重賞競走で 89%という依然として高い表彰該当率を維持しており、全体でも 57.8%という高い水準となった。これは 295 勝という数字とともに平成 18 年に現行の表彰対象競走となって以降、過去最高だった平成 29 年の表彰該当率と表彰該当競走数をさらに塗り替えたことになる。このことは各牧場の努力の成果であり、当協会育成牧場を経由することが新馬や重賞競走の勝利に結びつくことを表しているといえる。

また、競馬施行場で育成協会会長賞表彰を実施する重賞 2 歳ステークス競走 6 競走（札幌・函館・新潟・小倉・京王杯・デイリー杯）では、対象の全競走で当協会会員の育成馬が優勝しウイナーズサークルにおける表彰を受け、2 歳重賞競走における会員の高い表彰該当率を裏付けた。

| 対象競走                        | 平成30年 |      |       | 平成29年 |      |       |
|-----------------------------|-------|------|-------|-------|------|-------|
|                             | 競走数   | 表彰件数 | 表彰率   | 競走数   | 表彰件数 | 表彰率   |
| 2歳新馬競走                      | 234   | 176  | 75.2% | 233   | 179  | 76.8% |
| 3歳新馬競走                      | 54    | 39   | 72.2% | 53    | 37   | 69.8% |
| 2歳重賞競走 ※①                   | 18    | 16   | 88.9% | 18    | 16   | 88.9% |
| 平地重賞競走 ※②                   | 117   | 39   | 33.3% | 114   | 32   | 28.1% |
| 障害重賞競走                      | 10    | 1    | 10.0% | 10    | 0    | 0.0%  |
| 重賞以外の平地オープン競走 ※③            | 77    | 24   | 31.2% | 79    | 20   | 25.3% |
| 計                           | 510   | 295  | 57.8% | 507   | 284  | 56.0% |
| ※① 2歳重賞指定交流競走（地方競馬施行）の4競走含む |       |      |       |       |      |       |
| ※② 2歳限定重賞競走を除く              |       |      |       |       |      |       |
| ※③ 2歳及び3歳限定オープン競走を除く        |       |      |       |       |      |       |

## 2. 軽種馬の育成調教に関する調査及び研究（公益事業）

軽種馬の育成調教技術の向上と牧場環境の改善を図るため、新入会の牧場について実態、人材、施設等に関する調査を実施しデータを蓄積した。一方、過去に実施した牧場経営等に関する調査報告については、引き続き当協会ホームページに掲載して情報発信している。

## 3. 軽種馬の育成調教に係わる人材の確保・養成に関する支援（公益事業）

### 1) 生産育成調教牧場への就業者参入促進事業（BOKUJOB）

軽種馬の生産育成調教分野で働く人材の確保を目的とし、多くの若者に生産育成調教の現場を紹介することによって就業者の参入を促進するため、当協会を中心に JRA・BTC・公益社団法人日本軽種馬協会（JBBA）・一般社団法人日本競走馬協会の 5 団体で牧場就業促進事務局（BOKUJOB 事務局）を構成して各種事業を展開した。

#### ① 牧場就業促進ウェブサイトのリニューアルと運営

BOKUJOB のウェブサイトは、就職先としての生産育成牧場の認知や牧場での仕事に関する情報の提供を目的に平成 22 年に開局された。近年は実利用者数に比べて延べ利用者数に減少傾向がみられている。

実利用者数は平成 28 年に約 9 万人に迫るまで増加してきたが、延べ利用者数については平成 27 年の 16 万人から平成 29 年にかけて徐々に減少してきた。このことは実利用者数は安定しているのに、再び訪問する者やサイト内の他のページを閲覧して滞在する者が減少していることを表している。また、平成 27 年からスマートフォン用サイトを開設したこともあり、利用者数のうち半数以上がスマートフォン利用者となっていた。

こうした現状分析をもとに、スマートフォンからの閲覧とアプローチが主体となり、若年層により魅力的なウェブサイトに生まれ変わるため、平成 30 年には BOKUJOB ウェブサイトの全面的リニューアルを実施し、11 月 1 日に新サイトをオープンした。

| 年度      | 延べ利用者数  | 実利用者数  | スマホ利用者数/内数 | スマホ利用率 |
|---------|---------|--------|------------|--------|
| 平成 30 年 | 135,584 | 80,590 | 50,279     | 62.4%  |
| 平成 29 年 | 133,912 | 81,357 | 54,151     | 66.6%  |
| 平成 28 年 | 148,923 | 88,473 | 54,641     | 61.8%  |
| 平成 27 年 | 160,488 | 87,994 | 51,302     | 58.3%  |
| 平成 26 年 | 157,194 | 54,585 | 28,722     | 52.6%  |
| 平成 25 年 | 107,935 | 28,345 | 11,494     | 40.6%  |

※ 平成 30 年は 1~10 月の旧サイトと 11~12 月の新サイトの合計

#### ② BOKUJOB メインフェア 2018（東京競馬場）

就職協定の変更や高校生の就職活動の動向を考慮して、平成 28 年からフェアを 6 月に集中開催することとしたため、平成 30 年もメインフェアは G I 安田記念施行週に同時期

同場所で開催した。

少子高齢化による若年層人口の減少、有効求人倍率の上昇といった昨今の日本においては、どの業界においても労働力確保が深刻である。そのような逆風の中、SNS等で若年層に向けて積極的に広報展開した結果、対象参加者数は既卒者の増加により前年より増加し、高校生の参加は前年並みを維持した。大学生の就職活動解禁直後ということもあり、参加者それぞれの滞在時間は長く、目的に真摯な本気度が垣間見えるイベントとなった。

- ・6月2~3日(土・日) 東京競馬場 フジビュースタンド1階イーストホール  
出展 28 牧場・JBBA・BTC・装削蹄協会・日本軽種馬青年部連絡協議会  
静内農業高校教諭の進路指導・競走馬のふるさと案内所

| 年度     | 対象者<br>高校・大学他 | 保護者<br>学校関係者 | 見学者 | 小学生<br>中学生 | 受付来場者<br>合計 |
|--------|---------------|--------------|-----|------------|-------------|
| 平成30年  | 127           | 26           | 92  | 26         | 271         |
| 平成29年  | 103           | 44           | 48  |            | 195         |
| 平成28年  | 123           | 61           | 70  |            | 254         |
| 平成27年秋 | 86            | 34           | 200 |            | 320         |

### ③ BOKUJOB 関西フェア 2018 (阪神競馬場)

G I 宝塚記念施行週に開催日開催競馬場で実施される BOKUJOB 関西フェアは、関西地区での BOKUJOB 活動として定着してきた。このことから平成30年の関西フェアも、牧場との直接対話の場としてさらなる認知度の向上を見据え、同時期同場所で開催した。また平成30年は、静内農業高校教諭の進路指導と競走馬のふるさと案内所の紹介広報がメインフェアと同様に関西フェアにも初めて参加した。

広報については若年層向けの積極的な展開を予定していたが、6月18日に発生した大阪府北部地震を考慮し、SNSなどの直前告知は簡素な内容に切り替えた。一方で開催日当日に積極的広報と会場への誘引を実施したところ、対象となる世代の参加者数も増加し、内容の充実したイベントとなった。

- ・6月23~24日(土・日) 阪神競馬場 アメニティホール  
出展 10 牧場・JBBA・BTC・日本軽種馬青年部連絡協議会  
静内農業高校教諭の進路指導・競走馬のふるさと案内所

| 年度    | 対象者<br>高校・大学他 | 保護者<br>学校関係者 | 見学者 | 小学生<br>中学生 | 受付来場者<br>合計 |
|-------|---------------|--------------|-----|------------|-------------|
| 平成30年 | 83            | 70           | 71  | 33         | 257         |
| 平成29年 | 78            | 45           | 71  |            | 194         |
| 平成28年 | 69            | 48           | 57  |            | 174         |
| 平成27年 | 69            | 45           | 118 |            | 232         |

#### ④ 広報&相談コーナーと PR ブース

広報&相談コーナーとしては、平成 28 年から乗馬に携わる関係者へ BOKUJOB 活動を拡大展開しており、より馬に係わる人々に牧場での仕事内容や生活等への理解を浸透させるため、平成 30 年も競馬場以外の以下の会場にブースを設置し BOKUJOB 活動の広報や牧場業務に関する相談等を実施した。

|               | 開催日         | 来場者<br>平成 30 年 | 平成<br>29 年 | 平成<br>28 年 |
|---------------|-------------|----------------|------------|------------|
| 御殿場インターハイ馬術会場 | 7 月 24~25 日 | 45             | 20         | 32         |
| 宮崎育成牧場 馬に親しむ日 | 8 月 26 日    | 49             | 12         | 18         |

また、フェアを開催する地域から離れた場所の潜在的ニーズの掘り起こしのために、各競馬場にブースを設置して BOKUJOB 活動の広報や牧場業務に関する相談等を行なう活動を、平成 30 年には福島競馬場を新たに加えて実施した。

さらに、ジョッキーベイビーズには多くの馬関係者が関与していることから、平成 28 年よりジョッキーベイビーズに協賛することにより関係者に BOKUJOB 活動を拡散するとともに、その当該節開催日には一般来場者向けにも広報&相談コーナーを開設した。

|       | 開催日         | 来場者<br>平成 30 年 | 平成<br>29 年 | 平成<br>28 年 | 平成<br>27 年 |
|-------|-------------|----------------|------------|------------|------------|
| 福島競馬場 | 4 月 7~8 日   | 58             | -          | -          | -          |
| 中京競馬場 | 7 月 14~15 日 | 33             | 45         | 41         | 40         |
| 札幌競馬場 | 8 月 11~12 日 | 70             | 36         | 32         | 45         |
| 小倉競馬場 | 9 月 1~2 日   | 74             | 43         | 36         | 42         |
| 東京競馬場 | 10 月 6~7 日  | 35             | 43         | 54         | -          |

一方、中山競馬場 JRA ブリーズアップセール・札幌競馬場北海道トレーニングセール・ノーザンホースパークセレクトセールといったセリ市場の際に PR ブースを設置し、BOKUJOB 活動の広報や PR を実施した。

さらに、競馬施設以外への新たなアプローチの糸口として、平成 30 年は鹿児島で開催された日本学校農業クラブ全国大会にブースの出展許可を取り付け、高校生や教職員関係者に向けて BOKUJOB 活動の認知度向上のための広報を実施した。

また、平成 31 年度の BTC 研修受験生が定員に達しないことに鑑み、11 月 24~25 日の東京競馬場内や 12 月 8 日の東京競馬場乗馬厩での少年団馬術大会における BTC 研修生二次募集の活動を BOKUJOB 活動の広報とともに後援した。

#### ⑤ 牧場見学会

関東関西それぞれの地区ごとに一般公募で参加者を募り、若手従業員との質疑応答等を交えた牧場見学会を土曜日に日帰りで実施した。

平成 29 年以降、参加者希望者が可能な限り全員参加できるよう体制を整えた。

- ・関東地区 3月3日 参加者 18名  
協力：ビッグレッドファーム銚田、KSトレーニングセンター、松風馬事センター
- ・関西地区 3月10日 参加者 41名  
協力：信楽牧場、グリーンウッド・トレーニング、ノーザンファームしがらき

#### ⑥ 夏休み牧場で働こう体験会

全国公募で参加者を募り夏休み期間を利用して、牧場での就業体験・体験乗馬・BTC 研修体験学習・JBBA 研修見学・スタリオン見学等のカリキュラムを5泊6日で実施した。なお、平成28年から牧場体験滞在を2泊とし、体験受入牧場を静内地区にも広げており、平成30年も同様に実施した。

- ・7月29日～8月3日 参加者 16名

体験受入牧場：杵臼牧場、宮内牧場、谷口牧場、様似町軽種馬共同育成センター、グランド牧場、岡田牧場目名共同トレーニングセンター

平成30年は新たな試みとして、体験会に参加できなかった者を対象に自治体で実施している「日高王国」というプログラムを利用して牧場体験ができる旨を薦めたところ、1名の参加希望者があり、8月20日～22日の日程で日高王国体験を実施した。

### 2) 担い手育成事業

生産育成調教の牧場で働く意欲ある人々に必要な馬に関する知識と技術を習得させ、牧場就労担い手としての能力を開発し向上させるため、研修機関への修学や海外研修への派遣を援助した。

#### ① 修学奨励金交付事業

BTC が実施する育成調教技術者養成研修の平成30年度入講生4名とJBBA が実施する軽種馬生産育成技術者研修の平成30年度入講生2名に対して、修学奨励金を交付した。その後BTC入講生のうち2名については途中退所となったため、修学奨励金の返還を受けた。

#### ② 生産育成技術者海外派遣研修事業

長期研修としては、当協会会員牧場の従業員1名について、アイルランドに約3か月間（8月9日～10月31日）派遣した。

短期研修としては、会員及び会員牧場の従業員等8名をアメリカ合衆国に7日間（11月2日～11月8日）派遣して、生産育成牧場、種馬所、セリ会場、厩舎、競馬場等で研修を実施した。

### 4. 軽種馬の育成調教に係わる競争力の向上に対する支援（共益事業）

#### 1) セリ市場の振興

若馬育成調教の成果がセリ市場取引に反映されるように、2歳トレーニングセールへの地域団体による後援等を実施した。

## 2) 育成調教施設等の整備に対する助成事業

### ① 軽種馬生産育成強化資金利子補給事業

育成施設の整備等を目的に会員が借り受けた資金の利子負担軽減を図るため、公益財団法人全国競馬・畜産振興会から軽種馬生産育成強化資金を受け、平成30年は新規案件1件について銀行申請手続から融資協議会を経て利子補給を開始するとともに、継続案件8件についても利子補給を実施した。

### ② 競馬関連機材等有効活用事業

JRAの施設等で使用を取りやめた競馬関連の機器・資材などを有効に活用するため、平成30年は2回の抽選会を実施し、馬場柵2セット、トラック5台、ウニモグ4台、モーターグレーダー1台、芝管理機器類2台、ハロー類4台の合計18件について抽選と斡旋を実施した。

### ③ 畜産近代化リース事業

公益財団法人畜産近代化リース協会の行う畜産リース事業について、平成30年は2名の会員から新規案件機材2件の申請を仲介してリース物件が開始された。

## 5. 軽種馬の育成調教に係わる国際交流（公益事業）

競馬先進国との情報交換を進めるとともに、国内や近隣諸国に対して軽種馬の育成調教技術の指導、普及等を通じて国際交流を推進するため、海外派遣研修報告書を冊子にまとめ発行した。また、情報交換のため関係団体で構成される海外流通促進連絡協議会に参加した。

## 6. 軽種馬の育成調教に関する情報発信（公益事業）

軽種馬の飼養管理及び育成調教技術の普及並びに改善向上に役立つ情報を提供するため、平成30年も機関誌「いくせい」の56号（9月30日付）を発刊した。

また、協会ホームページ等を利用して、育成技術講習会の内容等の育成調教に係わる情報を広く一般市民にも閲覧可能な形で発信した。

## 7. 協会の運営、組織、その他必要な監査等

### 1) 総会の開催（定時総会）

3月9日15:00～ JRA本部9階 第5会議室

議案：平成 29 年度事業報告及び財務諸表について  
平成 30 年度会費等の額及び徴収の方法について

## 2) 理事会の開催

### ① 第 1 回理事会（定例）

2 月 2 日 14：00～ 新橋分館 4 階会議室

議案：平成 29 年度事業報告及び財務諸表について  
平成 30 年度定時総会の開催について（日程、場所、提出議案）  
総会における議決権行使書及び委任状について  
業務委託費の配分方法について

### ② 第 2 回理事会（臨時）

3 月 9 日 14：00～ JRA 本部 9 階 第 4 会議室

議案：平成 30 年度定時総会の委任状の取り扱いについて

### ③ 第 3 回理事会（定例）

12 月 7 日 14：00～ 新橋分館 4 階会議室

議案：平成 31 年度事業計画及び収支予算等について

### ④ 書面理事会（定款第 41 条）

3 月 16 日 入会の承認 2 件

5 月 2 日 入会の承認 3 件

6 月 6 日 入会の承認 3 件

6 月 20 日 入会の承認 2 件

12 月 14 日 入会の承認 2 件

## 3) JRA との育成等に関する懇談会

10 月 5 日 10：00～ JRA 本部 9 階 第 4 会議室

懇談内容：セリ市場の動向について

引退競走馬のリトレーニングについて

競馬学校厩務員課程の見直しについて

育成牧場における人材確保と養成（BOKUJOB）について

外国人労働力について

育成技術表彰事業について

育成牧場の基盤強化対策について

その他

## 4) 協会の組織

### ① 会員数の動向

|             | 北海道 | 東北 | 関東 | 関西 | 九州 | 計   | 賛助会員 |
|-------------|-----|----|----|----|----|-----|------|
| 平成29年12月31日 | 83  | 9  | 41 | 28 | 14 | 175 | 8    |
| 増加          | 4   | 1  | 3  | 1  | 3  | 12  | 0    |
| 減少          | 2   |    |    |    |    | 2   | 0    |
| 平成30年12月31日 | 85  | 10 | 44 | 29 | 17 | 185 | 8    |

## ② 役員の動向

平成30年度は役員に変更はなかった。

|       |       |     |        |
|-------|-------|-----|--------|
| 会長理事  | 栗田晴夫  | 非常勤 |        |
| 副会長理事 | 佐藤光信  | 常勤  | 常務理事兼務 |
| 副会長理事 | 飯田正剛  | 非常勤 |        |
| 理事    | 荻野豊   | 非常勤 |        |
| 理事    | 高橋司   | 非常勤 |        |
| 理事    | 諏訪豊蔵  | 非常勤 |        |
| 理事    | 沖崎誠一郎 | 非常勤 |        |
| 理事    | 中内田克二 | 非常勤 |        |
| 理事    | 柏木務   | 非常勤 |        |
| 理事    | 宮島成郎  | 非常勤 |        |
| 理事    | 織田信美  | 非常勤 |        |
| 監事    | 安達正奉  | 非常勤 |        |
| 監事    | 杉野繁治  | 非常勤 |        |

## ③ 職員等の動向

| 平成29年12月31日 | 就任・転入 | 退任・転出 | 平成30年12月31日 |
|-------------|-------|-------|-------------|
| 3名          | 1名    | 1名    | 3名          |

## 5) その他監査・検査等

### ○ 地方競馬全国協会（NAR）による監査

8月21日 新橋分館4階 会議室

内容：競走馬生産振興事業・軽種馬経営指導研修（人材養成支援）について

### ○ 日本中央競馬会（JRA）による監事監査

10月16日 新橋分館4階 応接室

内容：競走馬育成協会の事業について